

CHECK!



公式Instagramにて
熊本市の教育、
採用情報を配信！



KUMAMOTOCITY_KYUJIN_SAIYOU

WORKING STYLE

働き方改革について

熊本市では、教職員が心身の健康を保ちながら、ゆとりを持って本来の業務に携わる時間や自己研鑽の時間を持てるよう、平成30年度から「学校改革！教職員の時間創造プログラム」を策定し、教育委員会事務局と学校・園とが協働しながら働き方改革を推進しています。

令和8年度からは、第3期のプログラムを策定し、新たな取組を開始します。

具体的取組事例

休暇取得の推進

長期休業中に学校を閉庁する日を設けたり、年次有給休暇の取得期間を9月から翌年8月に変更したりすることで、休暇取得を推進。

▶令和6年の年休取得平均は18.0日

学校・保護者間連絡システム、留守番電話等の導入

欠席や遅刻の連絡を保護者がアプリで行えるようにし、朝の電話対応の負担を削減。学級通信などの配布物をアプリで保護者に直接届けることで、印刷や配布作業の手間を削減。電話機に、録音機能のある留守番電話を導入し、負担軽減につなげている。

部活動改革

部活動による長時間勤務の解消と負担軽減を図るため、令和9年度中に指導を希望する教職員が報酬を得て指導にあたる体制に移行する予定。

教育DXの推進

校務DX、ICT教育(タブレットの活用やオンライン学習等)において、先進的な取組を行うことで、業務の効率化を図る。

教員の働き方改革について詳しくはこちら
からご覧ください



SUPPORT

サポート体制

具体的サポート事例

一 拠点校指導教員、統括指導教員

初任者への研修や個別サポートを行います。



一 ICT支援員(情報通信技術支援員)

教育センターにICT支援員が常駐。
機器の使い方、授業の支援などを行います。



予約は
電話一本で
OK!

一 SSW(スクールソーシャルワーカー)

児童生徒の諸課題に、福祉の専門家として環境面からサポートします。

一 SC(スクールカウンセラー)

児童生徒の諸課題に、心理の専門家としてサポートをします。

一 巡回相談

支援が必要な児童生徒への支援方法等について、先生方と一緒に考えサポートします。

一 学校問題対応相談

精神科医や臨床心理士に、悩みを気軽に相談できます。

一 学校教育コンシェルジュ

保護者からの学校教育に関するあらゆる相談を受け、専門的な助言や必要な支援を行う相談員です。

一 学級支援員

学級に入り、児童生徒の学習の支援や安全の確保、生活の支援を行います。

熊本市教育センターでは、公式Facebookページによる教育情報の配信や公式YouTubeチャンネルによる研修動画等の提供も行っています。

www.kumamoto-kmm.ed.jp

熊本市教育センター

検索

